

改善報告書

令和6年7月31日

1. 大学名：同朋大学

2. 認証評価実施年度：令和3年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○文学部仏教学科の収容定員充足率が大幅に超過しており、かつ、具体的な改善計画が策定されていないため、改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

平成26(2014)年度の認証評価において「文学部仏教学科の定員充足率が低いため、改善が必要」と指摘を受け、その年も定員の6割を切る学生しか確保できなかった。そのため議論の結果、平成30(2018)年度に定員を10名に減員し、募集活動を行ってきた。

ところがそれ以降は、2019年度に16名入学、2020年度に13名、2021年度には再び16名入学と、逆に定員充足数を大きく超過する年が続き、令和3(2021)年度の認証評価においては「文学部仏教学科の収容定員充足率が大幅に超過しており、かつ、具体的な改善計画が策定されていないため、改善が必要」との指摘を受けた。

そこでさらなる定員の適正化をはたすべく、2022年9月14日開催の教授会において、仏教学科の定員を15名にすることを決定した【資料2-1-1】。

しかし、2023年度の入学者募集状況が芳しくなかったため、2022年11月16日開催の教授会において変更を見送り、仏教学科の定員は当面10名のまま据え置くことを決定した【資料2-1-2】。

その結果、2023年度は定員を大きく割り込んだが、2024年度は定員の9割を満たした。この10年間(2014年度～2023年)の仏教学科の平均入学者は12名であり、定員10名は正しい判断であったといえる。今後は18歳人口のさらなる減少に鑑みて、寺院子弟の受験対象者へのアプローチを強化し(真宗大谷派宗務所の協力のもと、全国の寺院子弟の受験対象者へ入学要綱を送付)、入学者の安定的な確保に努めたいと考えている。

同朋大学

< 仏教学科の入学定員充足率の変遷 >

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
入学定員	20	20	20	20	20	10	10	10	10	10	10	10
志願者数	47	49	36	31	30	11	16	20	26	24	8	11
志願倍率	2.35	2.45	1.8	1.55	1.5	1.1	1.6	2.0	2.6	2.4	0.8	1.1
入学者数	14	11	11	11	14	9	16	13	16	13	6	9
入学定員充足率	0.7	0.55	0.55	0.55	0.7	0.9	1.6	1.3	1.6	1.3	0.6	0.9
認証評価		●							●			

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

- ・【資料 2-1-1】同朋大学 第 6 回 [ 9 月定例] 教授会議事録<抄録>
- ・【資料 2-1-2】同朋大学 第 7 回 [11 月定例] 教授会議事録<抄録>
- ・